

日常生活の中で健康管理を可能にする 生活習慣病・循環器疾患予防のプラットフォーム/サービス開発

国立循環器病研究センター、ソフトバンク株式会社

背景・問題点

生活習慣病や循環器疾患に起因する国民医療費の増大。

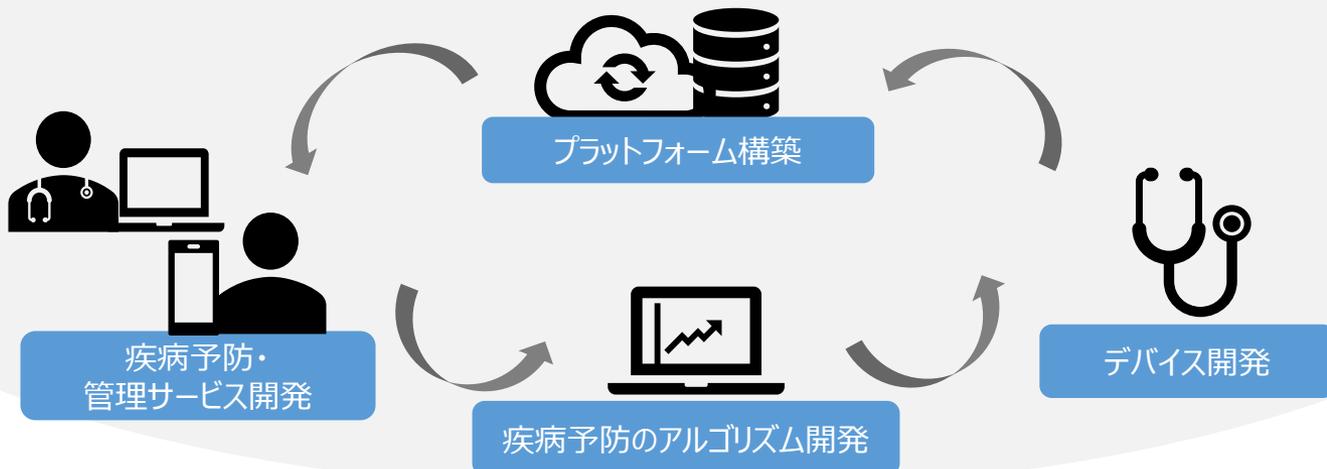
目的・改善点・製品

ソフトバンクは、様々なパートナーとの協業の下、医療機器、ソフトウェア、アルゴリズムの開発を推進し、医療費削減や国民の健康寿命延伸に寄与するサービスを生み出すことを目指す。

世の中がどう変わるか

ソフトバンクは、ウェアラブル機器等をネットワークでつなぎ、IoTによる健康管理の実現に貢献する。また、蓄積されたデータからAIによって健康上の様々なリスクを予測し、さらなる疾病予防に役立てることを目指す。

生活習慣病/循環器疾患の予防・管理システム構築を目指す



日常生活の中で健康管理を可能にする
生活習慣病・循環器疾患予防のプログラム/サービス開発
国立循環器病研究センター、ソフトバンク株式会社

背景・問題点

循環器疾患の発症には、気象変動や大気汚染物質が影響することが近年の疫学研究で報告されている。一方で、人々の生活様式による影響については「急性心筋梗塞の発症数は午前中の時間帯にピークが観察される」などの一部の報告に限られている。

目的・改善点・製品

ソフトバンクは、国立循環器病研究センターと協働し、二次医療圏の人口動態による地域特性と、救急搬送の受け入れの傾向や予後の傾向との関連性を解明することを目的としている。

世の中がどう変わるか

国立循環器病研究センターが管理する「循環器大規模データベース」にある全国各地の循環器疾患の予定外入院治療の症例のデータを活用して、各地域ごとに循環器疾患の救急搬送や予後の傾向を分析することで、各地域の地域特性を明らかにし、人々の生活様式の観点から循環器疾患予防に役立てることを目指す。

日常生活の中で健康管理を可能にする
生活習慣病・循環器疾患予防のプログラム/サービス開発
～なでしこ研究～

国立循環器病研究センター、ソフトバンク株式会社

背景・問題点

女性の冠動脈疾患は高齢発症で、高血圧・脂質異常症等の危険因子が重なる場合が多く、進行性血管病変との合併率が高い。さらに、社会的背景により診断や治療の機会が少なく重症化しやすい点も合わせ、男性に比べて予後が悪い傾向がある。従って、性差に基づく冠動脈疾患の診断、精緻な予測と予防方法の開発は喫緊の課題である。

目的・改善点・製品

ソフトバンクは国立循環器病研究センターと協働し、性差を加味した冠動脈疾患の診断を支援するアルゴリズム、およびアプリケーション開発を進める。

世の中がどう変わるか

日本における性差を加味した冠動脈疾患対策を推進する上で、AIを用いた診断支援システムを開発することの意義と必要性は大きい。医師の診断を支援するアプリケーションを開発することによって、早期発見および予後改善への貢献が期待できる。